

5

なぜ「使うほど単価が高くなる」従量料金の単価が高くなるの？

使えるほど単価が高くなる「通増(ていぞう)制」

水道料金表(1か月分・税込)

区分 用道および メーターの口径	基本料金	従量料金(1mlにつき)						
		0~10m ³	11~20m ³	21~30m ³	31~100m ³	101~500m ³	501~1,000m ³	1,001m ³ ~
家事の用 (25mm以下)	1,452.0円	0円	220.0円	253.0円	291.5円	363.0円	385.0円	412.5円
20mm以下	2,750.0円	0円	291.5円	335.5円				
25mm	4,730.0円							
家事以外の用 40mm	20,900.0円	0円	363.0円	379.5円	396.0円			
50mm	53,900.0円							
75mm	237,600.0円							

※「家事以外の用」の口径75mm超及び「公衆浴場用」の料金については記載を省略しています。

商品を購入する場合には、1コだけ買うよりも数多くまとめて買つほうが、1コあたりの価格(単価)が低くなることがあります。

一方、札幌市をはじめ多くの市町村の水道料金は、使った水の量が多くなればなるほど、1m³あたりの従量料金(単価)が高くなるように設定されています。このような料金体系を「通増(ていぞう)制」といいます。

通増(ていぞう)制により、水を多く使用する利用者の方々の単価は高くなりますが、一方で、一般的な家庭など、使用する水の量が少ない利用者の方々の料金負担は、低く抑えられるという側面もあります。

1人あたり3リットル×3日分

地震などの災害発生から救援体制が整うまでに、およそ3日間を要すると言われています。それまでは、各家庭で備蓄している飲料水や食糧が頼りになりますが、人が生命を維持するためには1日3リットルの水が必要といわれています。



水道局では、緊急貯水槽などの応急給水拠点施設を整備していますが、水道局で確保できる水道水の量には限りがありますので、皆さまのご家庭でも非常時のための飲料水の備蓄をお願いしています。

水道水を保存する場合には、フタのできる清潔な容器に口元いっぱいに水を満たし、フタをしっかりと閉めてください。日の当たらない涼しいところでは3日～1週間、冷蔵庫の中では1週間から2週間を最大限に保てます。

水を入れ替えてください。

市販のボトル水などを保存する場合は、製品の保存方法や賞味期限などの記載事項をご確認ください。

貴重な水資源を大切に使っていただきため



水は、私たちにどうぞ大切な資源であり、有効に使っていかなければなりません。

貴重な水資源が浪費されるこのないように、札幌市の水道料金では通増(ていぞう)制が採用されており、使用する水の量が多くなるほど単価が高くなるようになっています。

家庭をはじめとする使用量の少ない方々の料金の負担が抑えられる面も

通増(ていぞう)制により、水を多く使用する利用者の方々の単価は高くなりますが、一方で、一般的な家庭など、使用する水の量が少ない利用者の方々の料金負担は、低く抑えられるという側面もあります。

飲料水の保存方法

災害に備え、飲料水の備蓄をしましょう

コラム



水道水を保存する場合には、フタのできる清潔な容器に口元いっぱいに水を満たし、フタをしっかりと閉めてください。日の当たらない涼しいところでは3日～1週間、冷蔵庫の中では1週間から2週間を最大限に保てます。

市販のボトル水などを保存する場合は、製品の保存方法や賞味期限などの記載事項をご確認ください。

水を入れ替えてください。

水道水を保存する場合には、フタのできる清潔な容器に口元いっぱいに水を満たし、フタをしっかりと閉めてください。日の当たらない涼しいところでは3日～1週間、冷蔵庫の中では1週間から2週間を最大限に保てます。

水を入れ替えてください。

市販のボトル水などを保存する場合は、製品の保存方法や賞味期限などの記載事項をご確認ください。

水を入れ替えてください。